



つボイノリオさん、小高直子さんと
一宮西病院のドクターによる健康対談企画

健康のつボ!

【聞き手】つボイノリオ(タレント)、小高直子(CBCアナウンサー)
【解説】たつみ一郎医師(一宮西病院)



解説

一宮西病院
整形外科部長
著書
『100年足腰』
(サンマーク出版)

たつみ いちろう
異 一郎 医師

ひざ関節の痛みについて

日本人の多くのご高齢の方が悩んでいる「ひざ関節」の痛み。手術だけではなく「切らずに治す保存療法」に力を入れている整形外科医・一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生にお話を伺います。

第11回

全置換術と半置換術

小高 ひざ関節痛について

第11回！お話を伺うのは一宮西病院・整形外科部長のたつみ先生です。前回からは、人工関節の手術についてお話を伺っていますよ！

つボイ ひざに5つある靭帯、これを傷つけずに手術することができるといって「半置換術」の方が自然な感覚が残しやすいという、そういうお話でしたね。

小高 そうすると、関節全てを置き換える「全置換術」と軟骨のすり減った片側だけを置き換える「半置換術」をどうやって使い分けるのか、ってところですね。たつみ先生のお話です。

小高 これはもう、患者さんの症状、どこが痛いとか、

どこが削れちゃってるかとか、そういうことによって全置換の人もいれば半置換で行けそうだなって人もいます？

たつみ そうですね、半置換の患者さんを見られてね、先生！うちも半置換でやってください！って遠くから来られて、で診てみたらあーあなたは無理や、っていう場合もあるんですけど。

小高 これ全置換と半置換では、患者さんにとって、痛みとか、手術そのものの負担というのは、あんまり変わら

ないのですか？

たつみ それは難しい質問ですね。アメリカ人はこうや、日本人はこうや、っていう言い方みたいなもんで、アメリカ人でも日本人でもいろんな人いるでしょ？患者さん

もいろいろいるんですよ。だから、術前の痛みと術後の痛みがどれくらい変わるか、っていうことの方が大事で、「半置換のほうが全置換より良いとか悪い」とか、そういう問題でもない。

小高 っていうのはね、つボイさんも聞きたいって。手術は痛いかな？しんどいか？って話なんですけど(笑)。そこは全置換・半置換で関係ないよってことですか？

たつみ そりゃ、膝の半分しか触らないので、半置換の方が腫れるのが少なく痛みも軽いです。前十字靭帯が残っていれば膝の悪いのは半分だけ、この手術が可能です。
つボイ 手術にかかる時間も少ないですよ？

たつみ そうですね、手術が半置換で大体50分くらい、で全置換やと90分くらいですね。

小高 全体的に、どっちも短めだなんて。思ったよりも。
たつみ ぼくら、こればっかりやってますからね。昔は腰も手術したり、骨折もいっぱいやってたけど。今はひざしかやってないから、だんだん速くなってきたんですわ。

小高 保存療法のお話の時にね、保存療法が可能な人と、手術しなければいけない人っていう話の時もそうだったんですが、全置換術と半置換術、どっちを選択するかっていう問題も、先生が

仰るには人それぞれ、症状にもよるし、患者さんの環境も違うし、希望も違うので、その人それぞれということになりますよ、と。

つボイ 半置換のほうが切れる部分も少ないし、手術にかかる時間も短い。患者さんの体への負担は少ないと。これは事実のようですね。

小高 次回はその辺りのお話、身体に負担がかからない「低侵襲手術」のお話を伺います。「健康のつボ」ひざ関節痛について、「一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生でした。」

膝の痛みでたつみ医師の外来受診を希望される方(初診)は、完全予約制となります。

【対象患者さま】①初診の方 ②膝の痛みを診てほしい方
詳しくはこちらまでお問い合わせください。

→予約専用ダイヤル TEL.0586-48-0026
受付時間:平日/9時~17時、土曜/9時~12時

次回折込は2月2日(水)を予定しております。ご期待ください。

※折込日は予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。